

読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。2月といえば節分ですね。最近は豆まきだけでなく「恵方巻き」を食べるのも流行っていますが、皆さんは食べられましたか？さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

【今月の発見】

—— 一休さんが教えてくれた『継続の力』とは？

和仁さんが「成功ノート術」という本を出されましたよね。あの本の中で最も重要なことは「継続は力」だと思います。（ですよね？和仁さん）

そこで今回はその「継続は力」について、TVアニメ「とんちの一休さん」のエピソードを思い出したので、ご紹介したいと思います。

それは何かと言いますと、

「一休さんがご飯を練ってノリ（接着剤）を作るお話」

です。

まずはそのエピソードを（私の記憶にて）お話しします。

一休さんと大男が「ご飯を練ってノリを作る」という対決をすることになりました。大男は力があるので、大量のご飯を大きな棒で一気に練りこもうとします。しかし、一休さんは小さな箸で少しずつ丁寧に練っているだけ。

大男は勝ち誇ったようにどんどん練っていきます。これを見ていた観衆は「一休さん大丈夫？」と心配しますが、一休さんはまるでお構いなしに相変わらず箸で練り続けています。

さてこの勝負どうなったのでしょうか？（注：私の記憶では確かこんな話でした。）

結論から言いますと、皆さんの予想どおり一休さんが勝ちます。何故かと言うと大男のご飯は量が多いので、粘着力もスゴイのです。それで次第に身動きが取れなくなってしまいます。一方、一休さんは少しずつなので、時間はかかるけど着実に練りこんで見事ノリを作り上げたのです。

さて、このエピソードから学べることは2つあると思います。まず一休さんからは、「小さな努力が結局は最短距離だ」ということ、大男からは「焦って無理しても、自分の力量の方が追いつかない」ということです。やっぱり横着はダメ、コツコツが一番ですね。